

今年度の取り組みについて

■事業カードの取り組みを拡充

[課題]

- ・事業カードの取り組みが、庁内と伊賀市文化都市協会に留まっている。
- ・庁内でも一部、提出できていない部署がある。

[取り組み]

- ・公益文化団体へのヒアリング時に、事業カードの取り組みについて理解を得て、提出に繋げる。そのために、ヒアリング実施期間を通年とし、実施を強化する。
- ・公益文化団体を通じて、サークル団体などへ周知する方策を検討する。
- ・市民センターに配置されている生涯学習支援員に説明し理解を得て、住民自治協議会など地域での文化活動の事業カードの提出に繋げる。

■伊賀市文化振興条例、伊賀市文化振興ビジョンの周知拡大

[課題]

- ・市民、地域、事業者に、伊賀市文化振興条例、伊賀市文化振興ビジョンの存在が広く浸透しているとは言い難い。
- ・条例、ビジョンの周知のため、告知媒体に「伊賀市文化振興条例及び伊賀市文化振興ビジョンに基づく事業」の記載をするようにしたが、現在、取り組みは庁内と伊賀市文化都市協会に留まっている。

[取り組み]

- ・公益文化団体へのヒアリング時に、告知媒体への記載の取り組みについて理解を得て、記載に繋げる。

■意見交換会の充実

[課題]

- ・コロナ禍により意見交換会の開催ができていなかったが、今年度初めて開催した。意見交換の時間が60分間であったため、参加者からはもう少し時間がほしいとの意見もあった。
また、今回は、無作為でのグループ分けであったため、それぞれの立場での意見となり議論が深まらなかった。

[取り組み]

- ・意見交換の時間を長くとり、議論を深めてもらえるようにする。
- ・幅広に参加者を集めるのではなく、まずは近い分野ごとにグループ分けをし、焦点を絞って議論ができるように開催方法を検討する。
- ・自分たちの活動がよりよくなるためにという視点を重視して議論してもらえるようにする。